



決定的な好機も何度かあった。熱い声援にスタジアムが揺れた…無念！明治大学相手にゴールならず！



■エンジ色が広経大イレブン

□■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□■□

7月6日(火)から大阪・兵庫・京都において開幕した2004年第28回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントは7月11日(日)に終了した。広島経済大学は神戸総合運動公園ユニバー記念競技場において行われた1回戦で、関東第1代表の明治大学と対戦し、前半は0-0で折り返したものの後半に3失点を喫し、0-3で敗退。体力・集中力の差を痛感した試合であった。



貴重な経験を積み確かな手応えを感じた広経大サッカー部はこの敗戦を糧として、これから天皇杯とインカレへの出場を目指す。

(詳細は公式ホームページ：<http://www.hue.ac.jp/circle/taiku/huefc/>)

□■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□■□

ビッグイヤー2004 前半を総括する

広島経済大学サッカー部
部長 友松 修



2004年度シーズンも前半戦を終えましたが、その戦いぶりについて、振り返ってみたいと思います。

本年3月より桑田隆幸新監督が就任し、「連絡・連動・連続」をスローガンに掲げ、「新生 広経大サッカー部」がスタートいたしました。まず、最初に手がけた事は、昨年の課題であったフィジカル面、特に有酸素パワーの強化でした。公式戦が始まるまでの8週間の中で、3200m走・1600m走・12分間走を延べ30回程度行うことにより、当初の目的を果たすだけでなく、メンタル面の強化にもつながったと言えます。これに並行して、3月中は技術トレーニング、4月からは戦術トレーニングを中心に実施し、5月からの公式戦に突入いたしました。

シーズン最初の公式戦である「広島県学生サッカーリーグ」は5月3日に開幕しました。このリーグでは、新チームの完成度を高めることに加え、新戦力の発掘を目的としました。最終結果は6勝1分で4年連続の優勝となり、当初の目的を果たすことができたものと思われま

す。この広島県学生サッカーリーグ開催中の、5月29日・30日・6月5

日・6日の4日間、「中国大学サッカー選手権大会」が岡山県で開催されました。初戦から順当に勝ち進んだものの、準決勝では福山大学と対戦し、PK戦の末決勝に勝ち進みました。決勝では、昨年敗戦を喫している広島大学と対戦し、前半は押されぎみの展開でしたが無失点に抑え、後半に3得点をあげ、創部以来4回目の決勝進出において初優勝を果たす事ができました。この度の歴史的勝利の背景には、選手個々が潜在的に持ち合わせている技術力と、桑田監督がシーズン前に行なった戦術およびフィジカルトレーニングの効果がうまく融合した結果によるものであると確信しています。

それから1か月後、「総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント」に中国地域代表として初出場いたしました。7月6日に神戸で行なわれた1回戦では、関東大学サッカー選手権を制した明治大学と対戦し、前半は相手の多彩な攻撃を耐える一方で、持ち味のサイド攻撃を活かしたチャンスも幾度か生まれましたが0-0で終了。後半に入り、57分に先取点を奪われたものの、その後も一進一退の攻防が続き、試合終了間際の82分、87分と立て続けに失点し0-3で敗退いたしました。

今回、関東第1代表の明治大学と対等に戦えたことが選手たちの自信につながることは喜ばしい事ですが、小さなミスによって得点機を逃すなどの「関東勢との差」を少しでも縮めていく必要性を感じました。

また、今大会に出場することが決まった直後、1年生部員から「全国大会で応援をしたい」との申し出があり、レギュラーメンバー以外で私設応援団が結成されました。



■大学歌斉唱

彼らは、チームコンセプトである「One for All. All for One.一ひとりはみんなのために。みんなはひとりのために」を自らが目に見える形に

表してくれたのです。試合当日はこの私設応援団に加え、OBと保護者、学長をはじめとする大学関係者、そして一般学生の応援ツアーも生まれ、総勢約80名の「サポーター」が広島から神戸の競技場に乗り込み、スタンドが一体となった感動的な応援を繰り広げてくれました。





この応援により、選手たちがどれほどまでに勇気付けられたかは計り知れませ私設応援団を誇りに思うとともに、応援いただいた方々に心より感謝申し上げます。

前述した大会に並行して、7月3日より天皇杯全日本サッカー選手権大会の広島県代表を決定する「全広島サッカー選手権大会」が開催されました。初戦のJFE西日本SC戦は危なげなく勝利いたしました。7月22日に行われた2回戦では、昨年の全日本ユースサッカー選手権に中国地域代表として出場し、今年中国プリンスリーグでサンフレッチェ広島ユースを破るなど、ここ数年チーム力が上がってきている広島観音高校に苦戦を強いられる展開となりました。前半に先取点を奪ったものの、後半に2点を奪われそのままロスタイムに突入。終了間際に劇的な同点弾を叩き込み、PK戦で辛くも勝利を手にしました。

7月25日に行なわれた準決勝では、2回戦で広島大学を破った広島皆実高校と対戦いたしましたが4-0で快勝し、2年連続5回目の決勝進出を決めることができました。8月29日に行なわれる決勝では、昨年と同じくサンフレッチェ広島ユースと戦うことが決まっています。天皇杯初出場を目指し、そして昨年の決勝で苦汁を味わった「8月の悪夢」の借りを返すべく、選手たちはモチベーションを高め、この夏の練習に力を注いでいます。

以上、今年の前半戦を振り返りましたが、現在まで中国地域または広島県レベルの公式戦では無敗を続けています。今年チームは接戦をものにするメンタル的な強さと、後半に得点をあげることでできるフィジカル的な強さに加え、レギュラーとイレギュラーが一丸となって戦えるチームになりました。

広島経済大学サッカー一部は、これからもチーム一丸となってがんばりますので、OBの皆様方にはご多忙とは存じますが、可能な限りグラウンドに足を運んでいただき、現役諸君に声をかけ、激励していただければ幸いです。

今後とも絶大なご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

8月29日(日)は決戦の日

8月29日(日)はサッカーの天皇杯全日本選手権の広島県代表を決める「全広島サッカー選手権決勝大会」決勝の日です。

☆広経大サッカー一部 VS サンフレッチェ広島ユース

☆13:00キックオフ<NHK 総合テレビで生放送>



お願いします!!

OBのみなさんは、ビッグアーチに集結してください

真夏の決闘に熱い声援を送りましょう

信じてください

私たちの広経大サッカー一部は勝利します

ともに歓喜の瞬間を見届けましょう!

それでは、ビッグアーチでお待ちしています

寄付金(募金)の御礼

広島経済大学サッカー一部 OB 会
会長 前田 伸雄

この度の2004年度 第28回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント出場に際しましては、心温まるご支援・ご厚志を賜り、まことにありがとうございました。

おかげさまで応援用タオルマフラーの製作、応援用メガフォン、応援ツアー(登録外選手)等を実現し、学生の経済的負担を軽減することができました。(特別会計の収支報告はOB会総会にて報告します)

関係者一同、心より感謝いたしております。

ご承知のとおり、広島経済大学サッカー一部は1回戦で関東第1代表の明治大学と対戦し、0対3で敗れましたが、中国地区代表として正々堂々と戦い、実力を十分発揮したと評価いただけるものと確信しております。

OBの熱き声援と支援が勝利への支えとなります。全会員が結束し、広経大サッカー一部を大きく強く育てていきましょう!

お知らせ①

友松部長(財)広島県サッカー協会の常務理事に就任!(2004.06.08)ますますのご活躍を祈念いたします。

友松部長(36)が、6月5日(土)に行われた(財)広島県サッカー協会理事会において、同協会常務理事に選出、その後の評議員会において承認され就任が決定しましたので会員のみなさまにご報告いたします。

お知らせ②

この度、OB 会員市川友則(学籍番号5411028)さんが 広経大近くにお好み焼き「しかまる」を開店されました。味はバッチリ広島風。生ビールぐびぐびで最高です! 何と本誌 K・OB.net.No.9を持参頂きますと、トッピング1品が無料サービスとなりますので、ぜひ一度おためしください。

・店舗&オーナー名 : おこのみやき “しかまる” オーナー 市川 友則

・創立日: 2004/7/15

・お店のモットー: 美味しいお好み焼を安く、楽しく食べてもらいたい

・所在地: 広島市安佐南区山本 1-9-6 サンロードビル1F

・TEL&FAX: 082-871-8155

・ホームページ: <http://www.shikamaru.lunch-box.jp/>

・Eメール: okononiyaki@shikamaru.lunch-box.jp

・営業時間/定休日: 11時~21時、毎週火曜定休



■お問合せ: 広島経済大学 キャリアセンター 梶山健治

TEL 082-871-1004(直通) FAX 082-871-1666

E-mail kj-kaji@hue.ac.jp
